

# 『 自部署の看護をナラティブしよう!!! 』

～語り・聴き・共有する～ 』

令和4年12月7日、8日 開催しました

近年、医療におけるナラティブがより注目されるようになってきました。

患者さん個々に寄り添った医療・看護を提供するために、患者さんが語る病いの経験や患者さんと医療者の対話はとても重要なものです。

看護師一人ひとりが自身の経験を語る「看護のナラティブ」を、看護実践だけでなく自分自身を振り返るための方法として、また優れた看護のビジョン（理想像）について語り合う手段として、大切にしていきたいと考えています。



## ナラティブとは

## 『物語』『語り』という意味



今回、語り手にとっては、自部署での事例を通じた学びや、大切にしている看護を言語化することで、日々の看護実践を振り返る機会となりました。

一方、参加した聞き手は、他部署の取り組みや成果を共有することができました。

このような経験の積み重ねによって、日常的に看護師がナラティブを行えるようになり、また患者さんやご家族のナラティブからたくさんの価値を見出し、日々の看護実践につなげることができるのではないかと考えています。